2005 年 9 月 15 日

米国メキシコ湾における原油生産開始並びにオペレーターシップ取得について

三菱商事は、1998 年より米国メキシコ湾において原油･ガスの探鉱・開発・生産事業を推進していますが、今般同地域の新たな油田にて原油生産を開始するとともに、当社として初めてオペレーターとして操業そのものを全面的に行うこととなりました。

今般原油生産を開始したのは米国メキシコ湾沖合に位置するマスタング・アイランド（Mustang Island）726 鉱区で、当社の同地域での原油・ガス生産事業としては６鉱区目の生産鉱区となります。また、現在、他に３鉱区でも開発作業を進めており、いずれも年内に生産開始予定で、来年度には９鉱区合計で原油換算日量約 20,000 バレルの生産を計画しております。

同鉱区では、米国メキシコ湾での開発オペレーションに定評のあるターポン･オペレーティング･アンド･デベロップメント社(米テキサス州)と共同で鉱区権益を取得し開発を行ってまいりましたが、当社は原油生産開始にあわせてターポン社の保有する同鉱区の権益 30%を取得し、同鉱区は当社が 100%保有することとなりました。今後、関係当局への登録などを経た後、当社子会社が同鉱区でのオペレーターとして操業を開始します。また、当該地域においては当社 100%にて周辺鉱区も取得する予定で、今後探鉱活動を実施し、開発可能性を調査します。

米国メキシコ湾は、市場に近くパイプライン等インフラ・投資環境も整っており、今後とも有望な案件を開拓し積極的に取り組むコア・エリアの一つと考えております。石油･ガスの探鉱･開発･生産事業は、三菱商事の重点戦略分野の一つでありますが、今回オペレーターを取得することで、石油・ガス田の開発のノウハウをさらに高め、一層の事業拡大を図る方針です。

以 上